



「核兵器も戦争もない世界をつくるために～原爆裁判を現代に活かす～」



2024年10月11日、日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）がノーベル平和賞を受賞し、世界で核兵器禁止の機運が高まりました。他方でアメリカとイスラエルはイランの核施設を攻撃し、また先の参議院選挙で、核保有を肯定する議員が増加しました。

このような状況を踏まえて、日本反核法律家協会会長である大久保賢一弁護士から、1955年に提訴された「原爆裁判」の経緯、意義、及び核兵器禁止条約の制定に至る過程、今後の市民・政府が向かうべき方向についてお話し頂き、日本被団協代表理事の横山照子さんより、過酷な被爆体験、原爆被害のお話を頂きます。

講師／大久保 賢一 氏（日本反核法律家協会会長・弁護士）
／横山 照子 氏（日本被団協代表理事、長崎被災協副会長）

日時 2025年11月3日(月)（祝日）
午後2時～4時30分

会場 佐賀県弁護士会館（2階）当日先着120名

参加費無料

どなたでも参加できます

会場には駐車場
がありませんの
で、近くのコイン
パーキングをご利
用ください。

主催 佐賀県弁護士会 共催 日本弁護士連合会 お問合せ 0952-24-3411

